

本宮高等学校における読書活動推進への取り組み

1. 学校の概要

- ① 〒969-1101 福島県本宮市高木字井戸上45番地
- ② 学級数 10クラス 生徒数 315名（令和4年12月現在）
- ③ 学校図書館の蔵書数 19,516冊

2. 読書活動推進へ向けた取り組み

(1)生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

①司書による、2種類の図書館便りの発行

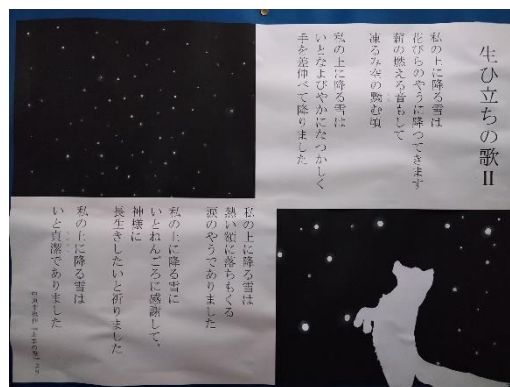
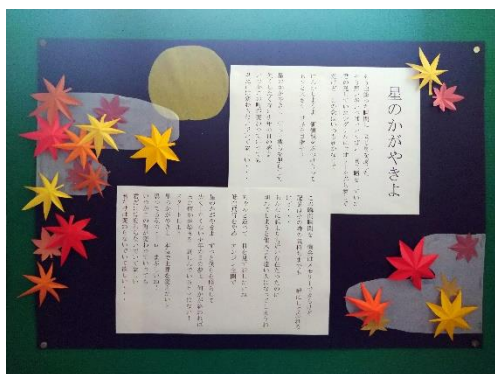
毎月「図書だより」を作成し、生徒に対し新着本やおすすめ図書の紹介、クイズを通した名作紹介をしている。教職員へも別に作成し配布をしている。

②図書委員による、広報活動

年に2回の「委員会だより」と、決まった月にお昼休みの時間を利用して図書委員による「お昼の放送」を実施、おすすめの本や図書館からのお知らせなどを放送してもらっている。

③司書による詩の掲示

季節ごとに、詩と制作物を決め、詩の解説とともに校内掲示板に掲示をおこなっている。



④特設コーナーの設置

カウンター付近に新着図書のコーナーを設け、昨年度購入図書という形でもう2か所設置。

職業・就職に関する資料（透明シールを使い分類）

進学者向けの図書や小論文に関する資料（分野ごとに分け書架に並んでいる）

東日本大震災関連および、防災対策の資料

保育・子育て関連コーナー（シールを使い分類分けをしている）

(2)学校における読書を通じた読書週間の定着を図る取り組み

①朝読の一斉読書の実施

毎日、朝の SHL 終了後10分間を「朝の読書の時間」として、全校生徒と学級担任等の教員が、本を読む時間を設けている。本は各自で用意したものや、図書館で「学級文庫」として各学級に配置したものを選ぶ、ただし漫画等は認めていない。「学級文庫」は定期的に入れ替えをおこなっている。

②授業等での図書館の利用

探究の時間や調べ学習の時間、自習等の時間に図書館利用されている。

(3)読書活動の質の向上へ向けた取り組み

①ビブリオバトルの実施

図書委員会活動として、毎年「ビブリオバトル」を開催している。発表者・傍聴者を全校生徒から募り、図書委員が運営を分担しおこなう。ただ、ここ数年はコロナウイルスの感染症対策で、生徒を集めるという活動は控えているため実施できていない。



②総合的な探究の時間や図書委員会での紹介 POP の作成
総合的な探究の時間では絵本の、図書委員会ではそれぞれおすすめの本の紹介を POP にして展示した。

(4)その他、読書活動推進へ向けた取り組み

①公共図書館との相互貸出の実施

福島県立図書館や本宮市内の図書館からの相互貸出を積極的に利用し、本校に蔵書していない資料や不足している資料を提供している。

②本以外の貸出の充実

リーディングトラッカーやしおり等を図書館利用者に貸出をおこなっており、しおりの貸出には



特に決まりは設けず、無期限で利用してもらっている。今後はブックカバーの貸出も始める予定でいる。